

Ibaraki Hawaii Internship 2026
茨城県指導医団派遣ハワイ研修
2026/11/29（日）～2026/12/5（土）5泊7日

コース総責任者：野木 真将(米国内科専門医、医学教育修士)

コース協力者：Dr. Benjamin Berg ⑦、Dr. Richard Kasuya ①/ Ms. Kori-Jo Kochi ①

研修内容の詳細

①ハワイ大学 PBL 臨床指導ワークショップ

臨床現場で指導するのに役立つスキルを学ぶ2日間のワークショップ。ハワイ大学伝統の Problem Based Learning（問題立脚型学習）は、少人数グループの場で、症例を通して指導する技法です。他にも、効果的なレクチャーやフィードバックの手法、進度が遅れている研修医への対応、リーダーシップなどのテーマにも触れます。

②クイーンズメディカルセンター Resident Morning Report 見学

Morning Report は全米で広く行われている臨床推論を学ぶ勉強会の形式です。ここでは、チーフレジデントが司会し、内科レジデントが臨床疑問に対するエビデンスの要約や症例発表をしながら参加者で臨床推論の訓練をします。

③クイーンズメディカルセンター ホスピタリスト指導医より特別講義

米国卒後医学教育の概要

④クイーンズメディカルセンター レジデント病棟回診

2チームに分かれて、指導医と研修医/医学生が現場でどのように日々教育回診をしているか、見学します。

⑤ハワイの歴史的文化遺産の見学

イオラニ宮殿、カワイアハオ教会などの見学。クイーンズメディカルセンターから徒歩圏内。

⑥日本人レジデント、指導医との意見交換会

懇親会や病院での面談などで、米国で医師として学ぶ側、働く側、指導する側からの意見が聞ける交流の時間です。日本と米国での指導方法の相違点などについてのディスカッションを行います。

⑦ハワイ大学 SimTiki シミュレーションラボ

ハワイ大学のシミュレーションラボでは FunSIM（通常2日間）という指導者育成コースをハワイや日本で開催しており、通常2日間のコースの内容に即して、今回は1日間で指導医がシミュレーション教育をする上で必要なテクニックやファシリテーションなどの基本理論を学びます。

（注）スケジュールの内容は、突然の変更があり得ることにご留意ください。